

こんにちは。毎月の「人事労務解決コラム」とは別に、人事労務に関する最新情報をタイムリーにお伝えしていきます。

【今回のテーマ】「ヤマト運輸、女性配送員を2万人に増員 人材確保・午前中の配達強化」

社会保険労務士事務所セオス：<http://ceoss-sr.jp>

---

以下、産経新聞からの抜粋です。

ヤマト運輸は、主婦層の起用を中心に配送員の強化を進めている。3～4年後には女性配送員が現在の5割増となる約2万人規模に達する見込みだ。

届け先の在宅率が高い午前中の配達に力を入れ、インターネット通販の普及による宅配便の増加にも対応する。人材確保が難しくなる中で、午前中に比較的自由になる主婦に働き手となってもらうことが得策と判断した。

「チーム集配」という住宅密集地向けの集配方式を一段と活用する。通常はフルタイムのドライバーが1人で担当するところを、主婦などを中心としたパート配送員とチームを組んで作業するもので、東名阪や地方の中核都市を中心に現在全配送網の約1割に導入している。

決まった時間、駐車場所に配送トラックが到着すると、集合した2、3人のパート配送員が各自、自転車や台車で荷物を近隣に配達する。

一つの区域を300～1000メートル四方と想定。10～15分程度で配り終わると、配送トラックは次の場所に移動して同じ作業を繰り返す。在宅率の高い時間に集中配達することで、不在で再配達になる荷物を1～2割減らせるという。

3月末の正社員を含めた女性配送員は約1万3000人で、パートを中心に毎年2000人程度ずつ増加している。ヤマトは採用増に向けてパートの人事制度の見直しを進めている。

抜粋ここまで。

女性の宅配スタッフをよく見かけるようになったと以前から思っていたが、都市圏のような住宅密集地域で区域を細かく区切って自転車等で宅配するシステムは、主婦を中心とした午前中が比較的自由になる方々に働き手になってもらうのに適合していると思いました。

インターネットなどによる通販は今後も拡大し続けるでしょうから、これは宅配市場にとってビジネスチャンスです。どのように細かく宅配サービスを提供できるかがひとつの生命線になることでしょう。その意味合いでも、「チーム集配」は非常によくできたシステムだと感じます。